

萩原良昭

つらく、はげしい練習に、  
気が張り、身も心も引き締まる思いであった。

練習は、楽しいものではない。  
つらくて、くるしい。

しかし、だからと言つて、  
僕はきらいにはなれない。

つらく、くるしいから、  
僕は好きだ。

しかし、不幸にも、残念ながら、優勝できなかつた。  
第三位の成績だつた。優勝できなくて、正直言つて、  
本当に残念だつた。

しかし、今となって、もはや僕は気にはしない。

僕にはわかる、  
勝敗よりもずっと貴重な体験を  
僕等が、したことを。

それは、汗とはこりにまじえた僕等の努力、  
勝負に挑む、僕等の集中力、チームワーク、  
そして、その戦いそのもの。  
ある特定の一つの目標に向かう、  
全員の精神の合体。

長い黒髪が風でゆれていた